

広陵町自治基本条例住民ワークショップ（第3回） 議事録要旨

開催日 令和元年12月7日（土）
午前10時～午後0時20分
場所 広陵町役場3階 大会議室

住民ワークショップ参加者（全20人）

企画部長、事務局（企画政策課・NPO政策研究所） 6人

自治基本条例庁内ワーキンググループ 6人

午前10時 開会

1 開会あいさつ（自治基本条例審議会会長）

今回は、議会と首長、職員について話し合ってもらおう。少し説明すると、国会と内閣の関係性と首長と地方議会の関係性は異なる。国会は「国権の最高機関」であり、与党が国会を動かしているように見えるが、実際は国会が内閣を統制している。一方、町と議会は町長と議会議員が選挙で選ばれる二元代表制であるため、権限は同等である。そのため、議会が頑張らないと、首長との政策競争に負けてしまう。昔は、議会にいかにか質問をさせないか、そしていかにか議論を少なくして議事を終了させるかが執行機関のウデの見せ所だった。

しかし、広陵町では議会基本条例を制定し、町長との政策競争をしっかりと行う、対等に議論することを明記している。

そのようなことを踏まえ、活発な議論をしていただき、自治基本条例条文書の作成に資するものをつくっていききたい。

※資料2に基づき、自治基本条例審議会と住民ワークショップのこれまでの流れについて事務局から説明。審議会および住民ワークショップで開催したワークショップによる意見は、庁内ワーキンググループで集約し、条例項目別論点および条文書の作成の材料になっていることを報告。

2 ワークショップ（町議会、町長、町職員の役割について）

（NPO政策研究所）

今回は、住民自治ではなく、団体自治（町議会、町長、町職員）がこうあってほしい、という役割について話し合う。前半は議会、後半は町長、町職員（役場）のことについて。

七尾市でも自治基本条例をつくる際に、議会基本条例もできた。その条例を

もとに、議会終了した後ごとに会派を超えて議会報告会を行っていた。しかし、最初の頃に比べると、段々と参加者が少なくなってしまう。広陵町でもそうでは？

→これまで各地域に出向いて議会報告会を行っていたが、人数が集まらなかった。今はアンケート形を変えて行っており、かぐや姫まつりでパネルで展示している。

今回は、K P T方式（K e e p、P r o b l e m、T r y）を用いて町議会、町長、町職員について話し合う。まずは、現在も行っていてそのまま続けてほしい（K e e p）こと、そして現在、問題と思われる（P r o b l e m）こと、最後にそれらを合わせて、今後挑戦してもらいたい（T r y）ことを話し合ってもらおう。

（質問）議会の基本のことが分からないと、話し合いができないので、教えてほしい。

（回答）町議会の定数は現在14人。議長、副議長があり、現在は奥本議長と谷副議長。3月、6月、9月、12月の年4回の定例会および年に何回かの臨時会がある。議長、副議長については毎年4月に臨時会を開催し、決めている。定例会では、予算や決算、重要な事案を決定してもらおう。定例会では、質問議会で一般質問が議員から行われる。現在の広陵町議会では、議員全員が質問しており、地方議会では珍しい。それくらい活発に議論が行われている、ということだと思う。また、定例会の下に委員会（総務文教委員会、厚生建設委員会）があり、委員と理事者側で具体的な内容について質問や意見が話し合われる。形式的な本会議よりも委員会の方が分かりやすいと思うので、ぜひ傍聴にきてもらいたい。

◆発表 グループ内で代表的な意見を発表（T：今後挑戦してもらいたいこと）

※全ての意見については、別添データ参照。

（議会）

- ・ 町長一日体験で議場を見学することができたので、議会を知るためのツアーを行うのがいいのでは。
- ・ 町民にインフルエンサーになってもらうことや、議会がないときの活動を毎月報告するなど見える化してもらいたい。
- ・ 委員会の日程や議事録が見える化、透明化してもらいたい。
- ・ 良いことが書いてある議会基本条例を精査し、議会自身も点検・評価を進めてほしい。
- ・ 開かれた議会運営を。

- ・ コミュニケーションをもっととってもらうとともに、インターネットを活用するなどして、地域に根ざした活動をおこなってほしい。

(町長・町職員)

- ・ 職員の人材育成と将来の展望をもっと分かりやすく。
- ・ 職員の人材育成を行い、多方面で勉強してもらうため、自己啓発、自己研鑽を積んでもらいたい。
- ・ 部署間の情報共有を行い、横の連携をしてそれぞれにフィードバック。また、課長の進行管理が必要。
- ・ 町長が働き過ぎだから休んでほしい。職員が永住したいまちになるようなまちづくりを。
- ・ 町長がとてもいい人だから、反対意見があったときに流されないでほしい。
- ・ 職員の人材育成として、地域担当職員がもっと地域に関わってほしい。

(審議会会長総括)

参加者の意見を聞くと、議員のレベル、議会全体のレベルが高いと感じた。多くの自治体の議長は1年交代。対して首長は4年。だから同等と言いながらも対抗できない。先進的な自治体では、議長も首長と同様に任期が長いところもある。

町長に関しては、皆さんは大好きなようで不満がほとんどなかった。

また、職員は幅広く知っていることがなかなかできない。一方で7～8年目までにすべてのことを浅く知っている職員を育てようとする試みもある。

4 その他（今後のスケジュール等）

今回で終了となるが、今後、町広報紙や町ホームページ、住民説明会などで皆さんに周知を図っていきたい。どのような周知を行えばよいか、事務局も検討中なので、意見をいただければ。

閉会 午後0時20分

以上